

防水／防塵性能に関する注意事項

「防水／防塵性能に関する注意事項」の内容をお読みのうえ、正しくご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

◆防水／防塵性能について

・本端末はスロットキャップをしっかりと取り付けた状態で IPX5 相当^{*1}、IPX8 相当^{*2}の防水性能および IP6X 相当^{*3}の防塵性能を有しています（当社試験方法による）。

※1 IPX5 相当：内径 6.3mm のノズルを用いて、約 3m の距離から約 12.5 リットル／分の水を 3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、電話機としての性能を保つことを意味します。

※2 IPX8 相当：常温で水道水、かつ静水の水深 1.5m の水槽に本端末を静かに沈め、約 30 分間水底に放置しても、本端末内部に浸水せず、電話機としての性能を保つことを意味します（水中においてカメラ機能は使用できません）。

※3 IP6X 相当：IP6X とは、保護度合いを指し、直径 75 μ m 以下の塵埃（じんあい）が入った装置に本端末を 8 時間入れてかかはんさせ、取り出したときに電話機の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します。

・本端末は、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使って洗うことができます。（当社試験方法による）

※本製品の有する性能は試験環境下での確認であり、すべての泡タイプのハンドソープあるいは液体タイプの食器用洗剤で洗えることを保証するものではありません。

洗いかたについては「洗いかたについて」をご参照ください。→p.19

・本端末についた泡は、やや弱めの水流（6 リットル／分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で、しっかりとすすいでください。洗った後は乾いた清潔な布で水抜きしてください。

・本端末を洗う際はキャップ類を確実に取り付けてください。

・実際のご使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

◆ご使用にあたっての重要事項

・砂浜などの上に直接置かないでください。受話口／スピーカー、送話口／マイク、背面マイク、ステレオイヤホン端子、外部接続端子などに砂などが入り音が小さくなったり、本端末本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

・スロットキャップが浮いている箇所がないことを確認しながら確実に閉じてください。

※スロットキャップの閉じ方は「防水／防塵性能を維持するために」をご参照ください。→p.20

・完全に閉まっていることで防水／防塵性能が発揮されます。

・スロットキャップと本端末本体の間に微細なゴミ（髪の毛 1 本、砂粒 1 個、微細な繊維など）がわずかでも挟まると水や粉塵が入る原因となります。

・手や本体が濡れている状態でのスロットキャップの開閉は絶対にしないでください。

・ステレオイヤホン端子や外部接続端子が濡れていたり、砂やほこりが付着した状態で使用しないでください。

・外部接続端子に蛇口の水を直接当てないでください。

・外部接続端子に水滴を残さないでください。

・水中で本端末を使用（キー操作を含む）しないでください。

・湿気の多い場所には長時間放置しないでください。

・本端末を洗うときは、国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使用してください。

・業務用・無添加・アルカリ性の泡ハンドソープあるいは業務用・無添加・アルカリ性の食器用洗剤は使用しないでください。本体が変色するおそれがあります。

・石鹸、入浴剤、シャンプー、リンス、洗顔剤、メイク落とし、歯磨き粉などで洗わないでください。付着した場合はすぐに水で洗い流してください。

・本端末本体の防水性能は、常温（5℃～35℃）の真水・水道水にのみ対応しています。以下の例のような液体をかけたり、浸けたりしないでください。また、砂や泥なども付着させないでください。

例：石鹸などの入った水／海水／プールの水／温泉／熱湯／薬品／汗

◆快適にお使いいただくために

・水濡れ後は本体の隙間に水が溜まっている場合があります。よく振って水を抜いてください。特にステレオイヤホン端子、外部接続端子、キー

部内の水を抜いてください。

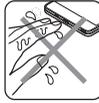
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさじつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、衣服やかばんなどを濡らすおそれがありますのでご注意ください。

- 受話口/スピーカー、送話口/マイク、背面マイクに水が溜まり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。

- 雨の中、傘をささずに濡れた手で持って通話やワンセグの視聴ができます。

※やや強い雨（1時間の雨量が20mm未満）まで

- ディスプレイに水滴が付着していると、タッチパネルが誤動作する場合があります。



- 雨がかかっている最中、本端末に水滴がついているとき、または手が濡れている状態でのスロットキャップの開閉は絶対にしないでください。

- 濡れた手で持って操作できますが、水には浸けないでください。

- 水中で使用しないでください。故障の原因になります。



- 急激な温度変化は、結露の原因となります。寒い場所から暖かい場所に本端末を持ち込むときは、本端末が常温になってから持ち込んでください。

- 落下させたりしないでください。

- 高温のお湯をかけないでください。耐熱設計ではありません。

- 強い流水（6リットル/分を超える）をかけないでください。

- 炎天下や高温になる場所で使用・放置しないでください。

- やや弱めの水流（6リットル/分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で洗えますが、高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。



- 洗うときはスロットキャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。

- ステレオイヤホン端子や外部接続端子は洗わないでください。

- 洗濯機や超音波洗浄機、食器洗浄機などで洗わないでください。

◆洗いかたについて

- 市販のアクセサリ商品（端末カバー、ケース、ストラップなど）は取り外してください。なお、市販のアクセサリ商品の取り扱いについては、

各商品の注意事項をご確認ください。

- 国内メーカー製の家庭用泡タイプのハンドソープあるいは国内メーカー製の家庭用液体タイプの食器用洗剤を使用してください。

- 食器用洗剤を使用する場合は、各製品の使用上の注意をよくお読みのうえ、使用量の目安を守って洗ってください。

- 本端末に、食器用洗剤の原液を直接付けないでください。原液が付いた場合はすぐに水で洗い流してください。

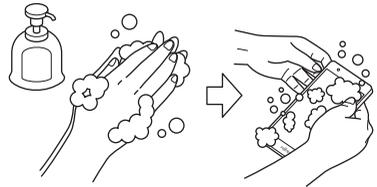
- 本端末を洗う際は、腕時計、指輪、付け爪などの装飾品は外してください。本体に傷が付くおそれがあります。

- 本端末を洗う際は、電源を切ってから行ってください。

- スロットキャップ、ワンセグアンテナはしっかりと閉じてください。

- ① 手に泡ハンドソープまたは食器用洗剤をとり、泡立ててください。本端末を手のひらに乗せ、前面と背面を泡でこするように洗ってください。

- スロットキャップが開かないように押さえたまま洗ってください。



- ② 前面、背面、各ボタンなど、本端末についた泡が完全になくなるまですすいでください。

- やや弱めの水流（6リットル/分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で洗ってください。

- スロットキャップの開閉はしないでください。

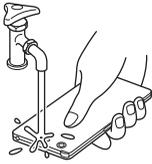
- スロットキャップに直接水をかけないでください。



各ボタン

③ 受話口／スピーカー、背面マイク、送話口／マイク、外部接続端子、ステレオイヤホン端子、ストラップホールをすすいでください。

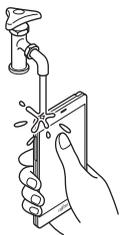
- 受話口／スピーカー、背面マイク、送話口／マイクに泡ハンドソープや食器用洗剤の成分が残っていると目詰まりが発生し、着信音や通話時の音質が低下するおそれがあります。しっかり洗い流してください。



背面マイク



受話口／スピーカー



ステレオイヤホン端子



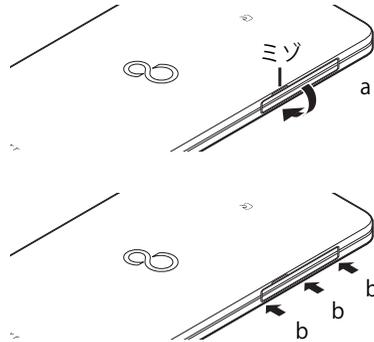
送話口／マイク
外部接続端子
ストラップホール

④ 水抜きをしてください。→P.21
十分に乾燥させて、水滴が残っていないことを確認してください。

◆防水／防塵性能を維持するために

水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- nanoSIMカードやmicroSDカードの取り付け／取り外し時には、ミゾに指先をかけてキャップを矢印(a)の方向に開け、使用後はキャップを矢印(b)の方向にしっかり押し込んで閉じます。キャップの浮きがないことを確認してください。



●ゴムパッキンについて

スロットキャップのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するための重要な部品です。次のことにご注意ください。

- はがしたり、傷つけたりしないでください。
- スロットキャップを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないように注意してください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。
- 常温(5℃～35℃)の真水・水道水以外の液体(温水や海水、薬品、汗など)が付着すると、防水／防塵性能を維持できなくなる場合があります。
- スロットキャップの開閉などをするときは手袋などをしたまま操作しないでください。また、ゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面は微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など)がわずかでも挟まると水や粉塵が入る原因となります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取って必ず取り除いてください。
- スロットキャップの隙間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つくおそれがあり、水や粉塵が入る原因となります。
- 防水／防塵性能を維持するため、ゴムパッキンは異常の有無にかかわらず、2年ごとに交換することをお勧めします(有償)。ゴムパッキンの交換については、富士通スマートフォン／タブレット修理・相談窓口までご連絡ください。

●水以外が付着した場合

万が一、水以外（海水／砂／泥など）が付着して

しまった場合、直ちに水で洗い流してください。

- やや弱めの水流（6リットル／分以下、常温（5℃～35℃）の水道水）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温の水道水で洗えます。
- 洗うときはスロットキャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。

●水で濡れたあとは

• 水で濡れたあとは水抜きをし、乾いた清潔な布で本端末の水滴を拭き取ってください。

※外部接続端子がショートするおそれがありますので水滴が付着したまま放置しないでください。

※ステレオイヤホン端子や外部接続端子に水滴が付着したまま使用しないでください。

※寒冷地では本端末に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因になります。水滴が付着したまま放置しないでください。

• 本端末に水滴が付着したまま放置しないでください。ステレオイヤホン端子、外部接続端子、キー部分は水分が入り込む構造になっていますが、入り込んだ水分は本端末を振るなどして払い落としてください（この場合、周囲に注意し、本端末を振り落とさないよう十分ご注意ください）。残った水分は乾いた清潔な布で速やかに拭き取ってください。

• 本端末に水や雪がついた場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。拭き取れなかった水や隙間にたまった水で衣服やかばんなどを濡らす場合がありますのでご注意ください。

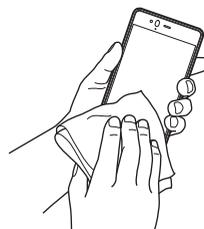
• ステレオイヤホン端子や外部接続端子は、十分に乾燥したことを確認のうえで使用してください。水滴が残ったままの状態で使用すると、故障の原因となります。

●水抜きについて

本端末に水滴が付着したままご使用になると、スピーカーなどの音量が小さくなったり、衣服やかばんなどを濡らしてしまうことがあります。

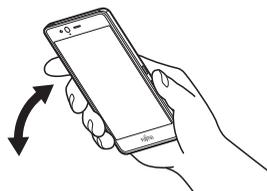
また、ステレオイヤホン端子、外部接続端子、キー部分などの隙間から水分が入り込んでいる場合がありますので、以下の手順で本端末の水分を取り除いてください。

- ① 本端末表面の水分を乾いた布などでよく拭き取ってください。

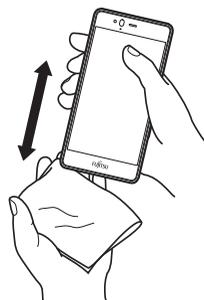


- ② 図のように本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。受話口／スピーカーと背面マイクの位置を入れ替えて同じように振ってください。

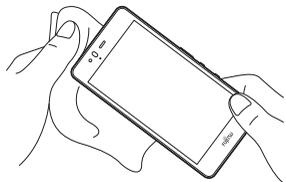
- 本端末を振り落とさないように、しっかりと握ってください。



- ③ 乾いた布などに本端末を軽く押し当て、10回程度軽く叩いてください。ステレオイヤホン端子と外部接続端子の位置を入れ替えて同じように叩いてください。



- ④ 受話口／スピーカー、背面マイク、送話口／マイク、ステレオイヤホン端子、外部接続端子、キー、ワンセグアンテナなどの隙間に入った水分を拭き取ってください。



- ⑤ 乾いたタオル・布などを下に敷き、常温で放置してください（30分程度）。

上記手順を行った後でも、本端末に水分が残っている場合があります。

濡れて困るもののそばには置かないでください。また、衣服やかばんなどを濡らしてしまうおそれがありますのでご注意ください。

◆充電に関する注意事項

指定の充電用機器は防水／防塵性能を有していません。充電時、および充電後には、次の点を確認してください。

- 濡れたまま本端末を充電しないでください。水に濡れたあとに充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってください。
- 外部接続端子に水滴や異物が入っていないか確認のうえ、ご使用ください。
- 本端末が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や電子回路のショートなどによる火災・故障の原因となります。
- 濡れた手で指定の充電用機器に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器は、水のかからない状態で使用してください。火災・感電の原因となります。
- 指定の充電用機器は、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

◆その他の注意事項

- 温泉や石鹸などの入った水などには絶対に浸けないでください。また、水中で使用したり、水中に長時間沈めたりしないでください。故障の原因となります。
- 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、スロットキャップの開閉はしないでください。
- 耐熱性について
熱湯、サウナ、熱風（ドライヤーなど）などは使用しないでください。耐熱設計ではありません。
- 衝撃について
落下させたり、衝撃を与えないでください。ま

た、受話口／スピーカー、送話口／マイク、背面マイク、ステレオイヤホン端子、外部接続端子などを綿棒や尖ったものでつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、防水／防塵性能が損なわれることがあります。

- 防水性能について
規定以上の強い水流（6リットル／分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。本端末はIPX5相当の防水性能を有しておりますが、故障の原因となります。
- 本端末は水に浮きません。
- 周囲温度5℃～35℃、湿度45%～85%の範囲で使用してください。範囲を超える極端に暑い場所や寒い場所で使用すると、防水／防塵性能が維持できない場合があります。
- スロットキャップに劣化・破損があるときは、防水／防塵性能を維持できません。これらのときは、富士通スマートフォン／タブレット修理・相談窓口までご連絡ください。
- スロットキャップが開いている状態で水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、富士通スマートフォン／タブレット修理・相談窓口までご連絡ください。
- 受話口／スピーカー、送話口／マイク、背面マイクに水滴を残さないでください。通話不良となる場合があります。